

伝統芸能

小鹿野町立長若中学校

文化芸術体験



白浪五人男



すがわらでんしめてならいかみ 菅原伝授手習鑑
くるまびきのば 車引之場



ことぶきそがのたいめん 壽 曾我対面

第2・3学年で活動

特色

- 総合的な学習の時間において、小規模校の特色を生かし、第2、3学年で地域の伝統芸能「小鹿野歌舞伎」についての理解を深め、その継承活動に取り組んでいる。
- 地域の指導者から歌舞伎について学び、演技、化粧、三味線、義太夫までの一連の過程を全て生徒が行い、郷土芸能に関する地域の行事、病院・介護施設での公演も行っている。

成果

- 活動を通して、生徒が「人と人が繋がることの大切さ」、「多くの人と一体となって芝居を完成させる喜び・達成感」を味わうことができた。
- 指導者や地域の人々との交流を通し、生徒一人一人が地域に愛着をもち、地域の一員である自覚や誇りがもてるようになった。また、保護者・地域からの生徒・学校に寄せる信頼も深まり、期待も大きくなっている。